



目的

日本自然災害学会は、自然災害の学理を追求し、社会への還元を目指す理学、工学、農学、医学、人文社会学等の**専門分野横断型の学際的**で、防災・減災学の拠点

1981年に設立された自然災害関係の老舗の学会(会員:約800人、事務局:京都大学防災研究所内)

事業内容

- 1.自然災害の基礎的学術研究、応用的技術研究、防災・減災システムの解明に関する基礎研究
- 2.自然災害科学の知識の普及
- 3.大学、官公庁及び民間団体等の自然災害関係研究者及び技術者の交流と連携(防災学術連携体と類似)
- 4.自然災害関係の研究者および技術者の養成
- 5.自然災害科学研究の国際的学術交流
- 6.学術講演会等の開催、学会誌の発行

1

活動内容



○学会誌「**自然災害科学**」年4回発行

・自然災害をキーワードとする日本で唯一の学術雑誌

○英文電子ジャーナル

「**Journal of Natural Disaster Science**」

(JNDS) 年2回発行

○学術講演会・

オープンフォーラム(市民対象)の開催

・毎年開催、地区持ち回り

・査読付き論文セッションの開催

○学会賞の授与

・学術賞、学術奨励賞、功績賞、Hazards2000国際賞

・学術発表優秀賞

学術研究の推進、人材の育成に貢献、学術交流に貢献

○最近の取組み

・国際員会の設置(2015)、・緊急災害調査補助制度の創設(2016)



学会誌「自然災害科学」



オープンフォーラム

2